

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

真室川町



人と地域と自然が輝く 協働のまちづくり

第12回 子ども遊び体験天国『えんにち』

子ども遊び体験天国『えんにち』を開催し、今年で12回目を数えます。近年少なくなっている子どもの体験の充実と各ボランティア団体や異世代交流を目的に開催しており、今年はいじめ・非行をなくそうやまがた県民運動の一環として、青少年育成推進員も加わりました。

この『えんにち』は、ボランティア団体だけではなく、行政や神室少年自然の家なども協力し合い、成り立っているイベントです。体験メニューも、どじょうのつかみ取り、木工クラフト、流しそうめんなど、多岐にわたっています。青少年育成推進員も集まった子どもたちや親子連れに、餅つきを体験させました。杵を持って、餅つきをして楽しみ、きなこやあんこ餅に舌鼓を打ち、推進員や参加者同士の会話もはずんで、いつの間にかそこには小さなサロンが出来上がっていました。

いじめ・非行を行っている多くは、自分の居場所を見つけれないことに要因があるように感じています。これを解消するためにも、みんなで声を掛け合い、地域全体で見守っていくことで、居場所を作っていく必要があると思います。小さなつながりですが、この『えんにち』を核にして、今後も大きな運動につなげていきたいと思っています。



大蔵村



むら美しく・人いきいき キラリおくら

たくましい心を育んだ自然体験！

小学生自然体験事業「おくら葉山塾」を実施してから、今年で16年目を迎えました。大蔵村の豊かな自然と誇れる歴史を、村の達人と称される方々から学び、体験活動を通して子ども達の「生きる力」を育むことをねらいとしています。

大蔵村では、「おくら葉山塾」を青少年健全育成事業の柱として位置づけ、青少年健全育成推進員をスタッフに、肘折温泉の祓川・銅山川の合流地点で2泊3日の日程で行ってきました。日頃、恵まれた生活環境にある子ども達は、厳しい自然に戸惑いながらも仲間と協力しあって活動をこなすとともに、自然の恵みのありがたさに触れるなど、貴重な体験を積み重ねてきました。

今年は、集中豪雨等の天候不順により、16年目にして初めて中止せざるを得なくなりました。参加申し込みをしていた児童からは、残念な声が多く寄せられました。その声を受け、青少年推進員と、「おくら葉山塾」を今後も大蔵村の青少年健全育成の重要事業と位置付け、次年度以降も是非実施していこうと確認し合いました。



鮭川村



「清流」と「きのこ」と心のふる里

鮭川村の青少年育成活動

鮭川村青少年育成推進員の活動について、5月に本年度第1回の推進員会を開催しました。今年度より推進員を1名追加し、9名体制での活動計画等の協議を行いました。

活動計画に基づき、7月23日に新庄市内の巡回指導、JR列車内の巡回指導を行いました。この活動は、鮭川村内の高校生の多くが新庄市内の学校に通学していることから、毎年のように行っています。当日は、高校生の通学路にあたるコンビニエンスストア内の巡回や新庄駅前高校生の立ち寄りそうな店舗内を巡回



させていただきました。店員さんから、「以前より、マナー等良くなっている」「特に問題行動ない」ということでありました。また、新庄駅から羽前豊里駅まで実際に列車に乗車しましたが、問題行動等なく、マナーよく乗車しているようでした。

8月4日には鮭川村内のボランティアサークルの活動に参加し、一緒にゴミ拾いを行いました。

今後は、これまでの巡回指導も計画しながら、青少年とともに実施する活動を多く展開していきたいと思っています。

戸沢村



豊かな自然に四季のかわりと 舟唄のこだまする村

中井町・戸沢村ふれあい交流

神奈川中井町と小学生同士の交流を行うようになってから23年目になります。本事業は、戸沢村と中井町の青少年が相互訪問し、お互いの町村の人間や自然、歴史、風土、産業などの貴重な異文化や生活体験を通して、将来積極的な行動力と広い視野を持ち、思いやりのある豊かな人格形成を目的に平成3年度に開始されました。



夏季には戸沢村から中井町へ、冬季は中井町から戸沢村へ子ども達が訪問します。お互いの町村の情勢に合わせて交流自体は形を変えながら実施してきました。現在は両町村共に小学6年生10名が参加しております。

交流に参加した子どもからは、「最高の思い出になった」「自分の成長を感じることができた」等の感想をいただき、素晴らしい体験の場を提供できていると実感しているところ です。

他市町村との交流は子どもにとってはもちろん、大人にとっても財産となると思います。「共育の村」戸沢村として、これからも形を変えながら、交流を継続したいと考えております。